

▶ 1次選考を受験する際の注意事項 ◀

◎ 受験票について

- ① 受験票は、8月9日(火)に郵送する予定です。
なお、8月26日(金)までに到着しないときは、1次選考試験地に対応する申込先(7ページ参照)に9月1日(木)17時までにお問い合わせください。
- ② 受験票には、本人であることが明瞭に確認できる写真(3か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの)を貼り、1次選考の当日に必ず持参してください。

◎ 1次選考当日

- ① 試験開始時刻(8時55分)(機械、土木、林業の各区分は13時40分)に遅れた場合は、受験は認められません。
- ② 受験票記載の試験場において、必ず試験開始時刻までに受付を済ませ、指定された試験室座席に着席してください。
受付は8時30分(機械、土木、林業の各区分は、13時15分)から行います。
- ③ 試験当日は、交通混雑等が予想されますので時間に余裕を持って行動してください。また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、ご注意ください。
- ④ 試験場及びその周辺には駐車できませんので、車での来場は禁止します。
- ⑤ 試験場内にゴミを捨てることはできません。ゴミは必ず持ち帰ってください。
- ⑥ 人事院では、有料で試験の合否等の連絡を請け負うことは一切行っていません。

▶ 1次選考及び2次選考通過者発表 ◀

日 時……1次選考通過者発表 10月 6日(木)9時(行政事務、皇宮護衛官、刑務官、入国警備官)
10月26日(水)9時(機械、土木、林業)

2次選考通過者発表 11月 4日(金)9時(行政事務)

掲示場所……人事院事務総局

人事院各地方事務局(所)(7ページ申込先参照)

※ 1次選考通過者及び2次選考通過者には通過通知書を郵送します。

発表の日から2日たっても通過通知書が到着しない場合には、至急人事院事務総局人材局試験課にお問い合わせください。【人事院事務総局人材局試験課：〒100-8913 千代田区霞が関1-2-3
電話(03)3581-5311内線2333】

インターネットにおいても、1次選考通過者及び2次選考通過者の受験番号を掲載します。アドレス等の詳細については、1次選考当日に配布する「受験心得」をご覧ください。

▶ 1次選考を通過したら ◀

1次選考を通過したら、試験区分によって以下の対応になります。

(1) 「行政事務」区分

2次選考(人物試験)は、1次選考通過通知書で指定された1日です。(指定された日時の変更は認められません。)

最終選考は、それぞれの採用予定府省で行われます。

採用予定官署、採用時の勤務地、採用に関する照会先電話番号等については、詳細が決まり次第、人事院ホームページ(20ページ参照)等によりお知らせしますので、最終選考の日時、場所、方法等については、採用予定官署に直接お問い合わせください。

(2) 「機械」、「土木」区分

最終選考は、それぞれの採用予定府省で行われます。

採用予定官署、採用時の勤務地、採用に関する照会先電話番号等については、詳細が決まり次第、人事院ホームページ(20ページ参照)等によりお知らせしますので、最終選考の日時、場所、方法等については、採用予定官署に直接お問い合わせください。

(3) 「林業」区分

最終選考は、「1次選考試験地及び最終選考試験地」の「最終選考試験地(最終選考を実施する森林管理局)」欄に掲げる森林管理局で行われますが、同森林管理局が必ずしも採用予定官署ではありません。

最終選考の日時、方法等については、最終選考を実施する森林管理局に直接お問い合わせください。なお、照会先電話番号等については、後日、人事院ホームページ(20ページ参照)等によりお知らせします。

(4) 「皇宮護衛官」、「刑務官」、「入国警備官」区分

1次選考通過通知書で指定する日時、場所で行われる最終選考を受験してください。

最終選考は、以下の日程のうち指定された1日です。(指定された日時の変更は認められません。)

「皇宮護衛官」10月17日(月)～21日(金)

「刑 務 官」10月14日(金)・15日(土)

「入国警備官」10月18日(火)・19日(水)

(18ページへ続く)

▶合格者発表◀

日 時……………12月2日(金)15時

掲示場所……………人事院事務総局

人事院各地方事務局(所)(7ページ申込先参照)

【人事院事務総局人材局企画課：〒100-8913 千代田区霞が関1-2-3 電話(03)3581-5311 内線2315】

インターネットにおいても、合格者の受験番号を掲載します。アドレス等の詳細については、1次選考当日に配布する「受験心得」をご覧ください。

▶合格したら◀

採用は、おおむね平成24年4月1日になりますが、欠員の状況によっては、合格発表直後から採用される場合もあります。

- 皇宮護衛官は、採用されると皇宮巡査に任命され、皇宮警察学校において憲法・行政法・警察法などの基礎学科をはじめ犯罪捜査・鑑識などの実務、柔道・剣道・逮捕術・拳銃などについての教育訓練を受けます。教育訓練中は全員学生寮に入り、教育訓練終了後は独身寮、家族宿舎などに入ることができます。
- 刑務官は、採用後、憲法・刑法などの法規をはじめ教育心理学・医学などの基礎学科、護身術・体育などの実科及び実務についての職場研修及び合宿研修を受けます。
- 入国警備官は、採用後、全国の地方入国管理局又は入国者収容所(入国管理センター)で若干の期間勤務した後、法務総合研究所牛久支所において初任科研修(約4か月間の合宿研修で、憲法・行政法・外国人登録法・出入国管理及び難民認定法・外国語などの学科をはじめ逮捕術その他の教育訓練)を受けます。

▶給与◀

1.採用当初の俸給は、採用前の経歴により異なりますが、例えば、高等学校卒業後、30歳で採用された場合（行政職俸給表（一）1級、公安職俸給表（一）1級、平成23年4月1日時点）

行政職員（行政（一）1級）	刑務官等（公安（一）1級）
15.5万円 ～ 21万円	17.5万円 ～ 24万円

2.上記のほか次のような諸手当が支給されます。

扶養手当 …………… 扶養親族のある者に、配偶者月額13,000円、子1人につき6,500円等

地域手当 …………… 民間賃金水準の高い地域に勤務する者等に、最高で俸給等の18%（東京都特別区の場合）

住居手当 …………… 借家（賃貸のアパート等）に住んでいる者等に、月額最高27,000円

通勤手当 …………… 交通機関を利用している者等に、1箇月当たり最高55,000円

期末手当・勤勉手当（いわゆるボーナス） …… 1年間に俸給等の約3.95月分

（参考）上記1の行政職員の例で、扶養親族が配偶者及び子1人の場合の月収額は、地域手当が支給されない地域に勤務する場合で約17.5万円～22.5万円程度、東京都特別区の本府省に勤務する場合で約21万円～27万円程度、年収額は、地域手当が支給されない地域に勤務する場合で約270万円～360万円程度、東京都特別区の本府省に勤務する場合で約330万円～430万円程度（いずれも、税込み、通勤手当は別途支給）

◎ 独立行政法人等に採用された者には、独立行政法人等が定めた給与が支給されます。

▶勤務時間・休暇◀

◎ 1週38時間45分勤務、週休2日制

（皇宮護衛官、刑務官、入国警備官については、1日7時間45分の勤務を行う場合と交替制勤務を行う場合があります。）

休暇には、年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日。残日数は20日を限度として翌年に繰越し）のほか、病気休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等）、介護休暇があります。

◎ 独立行政法人等に採用された者の勤務時間・休暇等は、独立行政法人等ごとに定められています。

▶試験に関する問合せ先等◀

この試験に関する問合せは、

人事院事務総局人材局試験課：〒100-8913 千代田区霞が関1-2-3 電話 (03) 3581-5311内線2333

FAX (03) 3581-2795

のほか、人事院各地方事務局（所）（7ページ参照）に行ってください。

▶平成22年度の実施結果◀

試験の区分	地域	申込者数	1次選考通過者数	2次選考通過者数	合格者数
行政事務	北海道	224 (65)	13 (2)	10 (1)	2 (0)
	関東甲信越	2,415 (834)	72 (15)	48 (13)	14 (4)
	近畿	402 (132)	10 (1)	8 (0)	1 (0)
	九州	729 (274)	22 (6)	12 (5)	3 (2)
	計	3,770 (1,305)	117 (24)	78 (19)	20 (6)
税務	関東甲信越	1,713 (375)	106 (13)		18 (4)
	東海北陸	824 (177)	51 (14)		7 (2)
	計	2,537 (552)	157 (27)		25 (6)
機械	全 国	175 (2)	16 (0)		7 (0)
林業	全 国	299 (25)	4 (0)		4 (0)
皇宮護衛官	全 国	176 (10)	15 (0)		2 (0)
刑務A(男子)	北海道	86 (-)	7 (-)		2 (-)
	東北	109 (-)	6 (-)		2 (-)
	関東甲信越静	264 (-)	15 (-)		4 (-)
	東海北陸	71 (-)	6 (-)		3 (-)
	近畿	157 (-)	11 (-)		3 (-)
	中国	104 (-)	7 (-)		1 (-)
	四国	76 (-)	3 (-)		0 (-)
	九州	221 (-)	14 (-)		6 (-)
計	1,088 (-)	69 (-)		21 (-)	
刑務B(女子)	関東甲信越静	29 (29)	6 (6)		1 (1)
	東海北陸	10 (10)	5 (5)		1 (1)
	近畿	21 (21)	5 (5)		1 (1)
	中国	27 (27)	5 (5)		1 (1)
	計	87 (87)	21 (21)		4 (4)
入国警備官	全 国	161 (34)	3 (1)		1 (0)
計		8,293 (2,015)	402 (73)	78 (19)	84 (16)

(注) ()内の数字は、女性を内数で示す。

◎新たな採用試験の実施について

※ 平成24年度試験より、新たな採用試験（総合職試験、一般職試験、専門職試験、経験者採用試験）を実施します。新たな採用試験においては、現行の中途採用者選考試験を引き継ぐものとして、40歳未満の者が広く受験することができる試験（一般職試験「社会人試験（係員級）」及び一部の専門職試験の社会人を対象とした試験区分）を設け、採用予定のある場合に実施することとしています。

新たな採用試験の内容等については、人事院ホームページ（http://www.jinji.go.jp/saiyo/shiken_minaoshi.htm）【随時更新】をご覧ください。

人事院ホームページ [<http://www.jinji.go.jp/tyutosaiyou/tyutosaiyou.htm>]
 （「国家公務員中途採用者選考試験について」のページ）